

釈尊三大聖地巡拝とタージマハル 7日間

お釈迦様ゆかりの八大聖地のうちブッダガヤ（成道）、サールナート（初転法輪）、ラージギル（霊鷲山）の3つのご聖地を参拝します。ガンジス河やタージマハル観光もありますので、初めてインド仏跡参拝に訪れる方におすすめのコースです。

1	各地空港 ⇒ デリー 空路、デリーへ（経由便または直行便） 【デリー泊】
2	デリー ⇒ パトナ ⇒ ラージギル 空路、パトナへ ラージギルへ 途中、ナーランダ大学跡見学 【ラージギル泊】
3	ラージギル ⇒ ブダガヤ ご来光に合わせて霊鷲山に登り香室跡参拝 ラージギル参拝（竹林精舎、ビンピサーラ王の牢獄跡、城壁跡） ブッダガヤへ 成道の地・ブッダガヤ参拝 （大菩提寺、聖菩提樹、金剛宝座、アショーカ王柱、スジャータ村など） 【ブッダガヤ泊】
4	ブダガヤ ⇒ バラナシ バラナシへ 初転法輪の地・サールナート参拝 （ダメーク塔、迎仏の塔、僧院跡、スリランカ寺院、博物館） 【バラナシ泊】
5	バラナシ ⇒ デリー ⇒ アーグラ ご来光に合わせてガンジス河にてボートに乗り、沐浴風景や火葬場を見学 空路、デリーへ行き、その後バスでアーグラへ 【アーグラ泊】
6	アーグラ ⇒ デリー ⇒ アーグラ見学（白亜の廟・タージマハル、アーグラ城） デリーへ 空路、帰国の途へ（直行または経由便） 【機中泊】
7	各地空港 入国手続きと税関

白亜の廟・タージマハル（アーグラ）

1632年よりムガル帝国第5代皇帝のシャー・ジャハーンの名により22年間もの歳月をかけて作られた総大理石製の皇帝の妃の廟で、インドで最も有名な観光地として世界にも名高く知られています。

当時の緻密な設計と非常に高度な建築技術の高さに驚くと同時にその素晴らしさは筆舌に尽くしがたいものがあります。



ヒンドゥー教の聖地・バラナシ

初転法輪の地・サールナートからほど近いところにヒンドゥー教の聖地・バナレス（ヴァラナシー）があります。ヒンドゥー教徒はこのガンジス河で沐浴をすると全ての罪が清め洗い流されると信じており、一年を通してインド中から巡礼客が訪れます。静かな仏跡地とは真逆の雑然とした賑わいは“インドらしさ”を感じることができます。



ブッダガヤ（成道の地）

釈尊が菩提樹の下で悟りを開いた場所として聖跡の中でも最高の聖地とされています。成道の地には大精堂が建っており、その背後には菩提樹と金剛宝座があります。近郊にはスジャータ乙女が釈尊に供養したといわれる尼蓮禪河、成道前に登られた前正覺山、釈尊が教化したカッサパ三兄弟の末弟が居住していた象頭山があります。



聖菩提樹



大菩提寺

サールナート（初転法輪の地）

釈尊が初めて説法をされた（初転法輪）地です。五比丘が釈尊を出迎えた迎仏の塔、ダメーク塔やダルマラージカストゥーバなどの遺跡が残る遺跡公園、世界最高傑作の仏像の1つと賞賛される初転法輪像や釈尊8大聖地の彫刻などがある州立博物館、日本人画家・野生司香雪が釈尊伝の壁画を描いたムラガンダクティ寺院などがあります。



ダメーク塔



野生司香雪の壁画

ラージギル（王舎城）

釈尊在世時のマガダ国の首都で王舎城があった場所です。多くの説法をされた場所として名高い霊鷲山の山頂には香室跡があり、朝日または夕陽を仰ぎながらの参拝は格別です。霊鷲山の他には、釈尊と弟子達が起居した竹林精舎、王舎城の悲劇の舞台となったビンピサーラ王の牢獄跡、第一結集地・七葉窟などがあります。



霊鷲山



霊鷲山山頂の香室跡

ナーランダ仏教大学跡

霊鷲山のあるラージギルから車で約30分の場所に位置し、紀元後5～11世紀頃に栄えました。最盛期には学僧が10,000人、教授が1,500人ほどいたとされ、一大仏教教学センターとなっていました。西遊記にも登場する三蔵法師（玄奘三蔵）も中国から来て留学し、後には副学長まで務めました。現在は仏塔や僧房などが残っています。



ナーランダ仏教大学跡の遺跡

